

平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 テクニカル電子株式会社

コード番号 6716 URL <http://www.technical-e.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 嶋田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 本部長

(氏名) 広瀬 薫

TEL 03-3762-5152

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,246	△8.7	△23	—	△34	—	△38	—
26年3月期第1四半期	1,364	6.0	54	△33.6	51	△2.3	△274	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △42百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △243百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△4.80	—
26年3月期第1四半期	△34.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	8,247	2,270	27.5	283.02
26年3月期	8,411	2,360	28.1	294.31

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 2,270百万円 26年3月期 2,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期の配当につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,000	△1.0	240	△23.6	210	△28.0	100	△15.0	12.46
通期	6,200	3.3	520	2.3	460	1.0	250	7.8	31.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	8,038,100 株	26年3月期	8,038,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	17,302 株	26年3月期	16,875 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	8,021,197 株	26年3月期1Q	8,023,734 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 3
4. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本銀行による金融緩和策等により安定した為替状況が続く、企業業績も回復の期待が高まっておりますが、中国を始めとしたアジア経済の減速の影響、消費税増税に伴う影響など、当社グループを取り巻く状況は依然として厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中で当社グループは駐車場機器及び電子機器部品の開発・販売に加え、施設園芸ハウス向けヒートポンプ空調を始めとした農事用商品の販売及びアクア（水）事業としてRO浄水器や水プラント用充填機の販売を行い、売上及び利益の向上に努めてまいりました。

当社の主力事業である駐車場関連事業は、駐車場運営事業は微増であったものの駐車場機器事業が低調に推移した結果前年同期より減収となりました。また、電子機器部品事業は、モニタ、ディスプレイの電子機器は増収となったものの、ソケット、コネクタの電子部品及び当社連結子会社E P Eのストロボユニット等光機器製品が低調に推移した結果前年同期より減収となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績の売上高は12億4,639万円（前年同期比8.7%減）となりました。生産の効率化や経費削減等、原価低減を積極的に推進しましたが、損益面につきましては、営業損失は2,318万円（前年同期は5,465万円の営業利益）、経常損失は3,493万円（前年同期は5,196万円の経常利益）、四半期純損失は3,846万円（前年同期は2億7,441万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「アグリ事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しており、当第1四半期累計期間の比較・分析は変更後の区分に基づいております。

（駐車場運営事業）

「駐車場運営事業」につきましては、直営駐車場が増加したことにより、売上高は5億6,207万円（前年同期比2.2%増）と増収となりましたが、駐車場運営事業では消費税増税の影響等からセグメント利益（営業利益）は6,285万円（前年同期比22.5%減）と減益となりました。

（駐車場機器事業）

「駐車場機器事業」につきましては、バーク式全自動パーキングシステム“とめタロー”とロック板式集中精算管理システム“T P C-M P 210”を中心に拡販を図りましたが全般的に低調に推移いたしました。その結果、売上高は3億5,777万円（前年同期比16.0%減）と減収となり、セグメント利益（営業利益）は2,264万円（前年同期比45.9%減）と減益となりました。

（電子機器部品事業）

「電子機器部品事業」の電子機器につきましてはL C Dモニタの販売、電子部品につきましてはカスタム品コネクタの販売、各種プレス部品につきましてはデジカメ・携帯電話・H D D用部品、自動車用部品の販売、光機器製品につきましてはストロボユニット等の拡販を図りました。しかしながら、モニタ、ディスプレイの電子機器は増収となったものの、ソケット、コネクタの電子部品及び当社連結子会社E P Eのストロボユニット等光機器製品が低調に推移した結果、売上高は2億5,162万円（前年同期比11.8%減）と減収となり、セグメント損失（営業損失）は921万円（前年同期は694万円のセグメント利益（営業利益））と減益となりました。

（不動産賃貸事業）

「不動産賃貸事業」につきましては、前事業年度に東京本社の賃貸不動産を売却したことにより売上高は5,690万円（前年同期比28.2%減）と減収となり、セグメント利益（営業利益）は2,799万円（前年同期比38.0%減）と減益となりました。

（アグリ事業）

「アグリ事業」につきましては、ハウス栽培用ヒートポンプ空調等の農事用商品の拡販を推進しましたが、ハウス栽培用ヒートポンプ空調の売上が第2四半期以後に集中したこと等により、売上高は213万円（前年同期比85.7%減）と減収となりました。セグメント損失（営業損失）は1,392万円（前年同期は926万円のセグメント損失（営業損失））と減益となりました。

(その他)

その他（アクア事業等）は、アクア（水）事業としてＲＯ浄水器や水プラント用充填機の拡販を推進しました。売上高は1,586万円（前年同期比71.3%増）と増収となりましたが、セグメント損失（営業損失）は703万円（前年同期は30万円のセグメント損失（営業損失））と減益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、82億4,748万円（前連結会計年度末比1億6,354万円減）となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少したこと等により、26億625万円（前連結会計年度末比1億3,525万円減）となりました。

固定資産につきましては、特記すべき重要な増減はありませんでした。減価償却等により、56億4,123万円（前連結会計年度末比2,829万円減）となりました。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、59億7,741万円（前連結会計年度末比7,292万円減）となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金が減少したこと等により、17億6,122万円（前連結会計年度末比5,774万円減）となりました。

固定負債につきましては、特記すべき重要な増減はありませんでした。結果としまして、42億1,619万円（前連結会計年度末比1,517万円減）となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、22億7,007万円（前連結会計年度末比9,062万円減）となりました。前期末の配当金の支払及び当期純損失の計上により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月8日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,482,860	1,246,538
受取手形及び売掛金	590,523	444,111
たな卸資産	380,507	458,113
その他	298,548	467,337
貸倒引当金	△10,937	△9,849
流動資産合計	2,741,501	2,606,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,542,921	1,522,827
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	674,221	672,418
土地	2,894,829	2,894,277
リース資産（純額）	54,422	49,083
建設仮勘定	5,874	1,358
有形固定資産合計	5,172,268	5,139,966
無形固定資産		
のれん	180,665	173,485
その他	32,953	37,629
無形固定資産合計	213,618	211,115
投資その他の資産		
その他	297,007	303,515
貸倒引当金	△13,359	△13,359
投資その他の資産合計	283,648	290,155
固定資産合計	5,669,535	5,641,237
資産合計	8,411,036	8,247,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年 3 月 31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成26年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	301, 276	244, 608
1年内償還予定の社債	40, 000	40, 000
短期借入金	389, 260	385, 850
1年内返済予定の長期借入金	572, 157	609, 445
未払法人税等	290	45
引当金	41, 820	13, 176
その他	474, 164	468, 096
流動負債合計	1, 818, 968	1, 761, 221
固定負債		
社債	80, 000	80, 000
長期借入金	3, 310, 026	3, 318, 679
役員退職慰労引当金	24, 754	26, 658
退職給付に係る負債	44, 563	42, 120
その他	772, 024	748, 731
固定負債合計	4, 231, 369	4, 216, 190
負債合計	6, 050, 338	5, 977, 411
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 052, 850	1, 052, 850
資本剰余金	236, 436	236, 436
利益剰余金	1, 153, 707	1, 067, 118
自己株式	△4, 640	△4, 767
株主資本合計	2, 438, 353	2, 351, 636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	117	3, 049
土地再評価差額金	△117, 558	△117, 558
為替換算調整勘定	39, 777	32, 940
その他の包括利益累計額合計	△77, 664	△81, 568
少数株主持分	10	10
純資産合計	2, 360, 698	2, 270, 078
負債純資産合計	8, 411, 036	8, 247, 489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	1,364,616	1,246,392
売上原価	1,032,462	985,241
売上総利益	332,153	261,151
販売費及び一般管理費	277,502	284,337
営業利益又は営業損失(△)	54,650	△23,186
営業外収益		
受取利息	394	312
受取配当金	282	271
受取保険金	-	3,803
為替差益	12,240	-
受取手数料	50	30
貸倒引当金戻入額	-	1,087
その他	1,433	897
営業外収益合計	14,400	6,403
営業外費用		
支払利息	16,437	13,089
為替差損	-	1,500
その他	646	3,559
営業外費用合計	17,084	18,148
経常利益又は経常損失(△)	51,967	△34,932
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	10,233	-
特別利益合計	10,233	-
特別損失		
固定資産除却損	5,529	1,035
役員退職慰労金	315,117	-
特別損失合計	320,646	1,035
税金等調整前四半期純損失(△)	△258,445	△35,968
法人税、住民税及び事業税	906	9,934
法人税等調整額	15,062	△7,441
法人税等合計	15,968	2,493
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△274,413	△38,461
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純損失(△)	△274,414	△38,461

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△274,413	△38,461
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△418	2,932
為替換算調整勘定	31,653	△6,836
その他の包括利益合計	31,235	△3,904
四半期包括利益	△243,178	△42,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△243,178	△42,365
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	駐車場 運営事業	駐車場 機器事業	電子機器 部品事業	不動産 賃貸事業	アグリ 事業	計			
売上高									
外部顧客への売上高	549,826	425,880	285,423	79,229	14,994	1,355,354	9,261	—	1,364,616
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	549,826	425,880	285,423	79,229	14,994	1,355,354	9,261	—	1,364,616
セグメント利益又は損失(△)	81,138	41,876	6,949	45,130	△9,261	165,832	△306	△110,875	54,650

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	165,832
「その他」の区分の利益	△306
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△110,875
四半期連結損益計算書の営業利益	54,650

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額
	駐車場 運営事業	駐車場 機器事業	電子機器 部品事業	不動産 賃貸事業	アグリ 事業	計			
売上高									
外部顧客への売上高	562,079	357,776	251,626	56,902	2,138	1,230,523	15,868	—	1,246,392
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	7,806	—	—	7,806	—	—	7,806
計	562,079	357,776	259,432	56,902	2,138	1,238,329	15,868	—	1,254,198
セグメント利益又は損失(△)	62,855	22,649	△9,215	27,998	△13,929	90,358	△7,036	△106,508	△23,186

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アクア事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	90,358
「その他」の区分の利益	△7,036
セグメント間取引消去	△7,806
全社費用(注)	△98,702
四半期連結損益計算書の営業利益	△23,186

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する情報

前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「アグリ事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第1四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。

(重要な後発事象)

当社は、平成26年8月7日開催の取締役会において、不動産売買契約を締結することを決議いたしました。詳細につきましては、本日開示いたしました「固定資産の取得に関するお知らせ」をご参照ください。